

産地収益力向上事例集

生産性の高い農業と活力ある
農村を実現する農業農村整備

平成31年1月
北海道農政部

■産地収益力向上事例集(目次)

振興局	タイトル	関係市町村	主な作物	頁
空知				
東部耕地出張所	乾田直播やICT技術による営農作業省力化の取組	岩見沢市	水稲、玉ねぎ、白菜、小麦、大豆等	1
南部耕地出張所	ほ場の大区画化とブロッコリーの生産拡大の取組	長沼町	水稲、小麦、大豆、トマト、ブロッコリー等	2
北部耕地出張所	新規作物の導入と高付加価値商品開発の取組	雨竜町	水稲、小麦、大豆、そば、メロン等	3
石狩	野菜の安定生産と直売による収益向上への取組	恵庭市	水稲、小麦、大豆、かぼちゃ、ブロッコリー等	4
後志	高収益作物の生産拡大・加工による「稼ぐ力」の向上	真狩村	馬鈴薯、甜菜、ゆり根、にんじん等	5
胆振	「クリーン農業」による確かな品質と直売所の売り上げ向上	伊達市	小豆、馬鈴薯、キャベツ、スイートコーン等	6
日高	ミニトマト「太陽の瞳」のブランド化と生産・収益の向上	新ひだか町	ミニトマト、水稲、牧草等	7
渡島	トマトで農業所得向上をめざして	北斗市	米、大豆、長ネギ、トマト、ほうれん草等	8
檜山	高収益作物「さやえんどう」の安定生産による所得の向上	上ノ国町	さやえんどう、トマト、さやいんげん、アスパラ等	9
上川				
南部耕地出張所	基盤整備と集落間の連携強化による産地収益力向上への取組	上富良野町	水稲、馬鈴薯、玉ねぎ、にんじん、スイートコーン等	10
中部整備室	水田大区画化を契機とした園芸作物の生産拡大	当麻町	水稲、キュウリ、トマト、スイカ、花卉等	11
北部耕地出張所	日本最北端のかぼちゃ産地で生産拡大による収益の向上	美深町	もち米、小麦、かぼちゃ等	12
留萌	中山間地域における水稲・野菜の複合経営への取組	苫前町	水稲、スイートコーン、かぼちゃ、メロン等	13
宗谷	「てっぺん」稚内で酪農経営の安定化を目指す	稚内市	牧草等	14
オホーツク				
東部耕地出張所	大規模畑作地域におけるJAびほろ産にんじんの生産拡大	美幌町	にんじん、玉ねぎ、小麦、馬鈴薯等	15
中部耕地出張所	生産量日本一を誇る北見産「たまねぎ」を『ロシア』へ	北見市・訓子府町・置戸町	玉ねぎ、白花豆、小麦、甜菜、馬鈴薯等	16
西部耕地出張所	自給飼料を主体とした大規模経営による国産バターの安定供給	紋別市	牧草、飼料用とうもろこし等	17
十勝				
南部耕地出張所	にんにく生産の拡大とブランド力の向上	清水町	小麦、甜菜、豆、馬鈴薯等	18
北部耕地出張所	基盤整備を契機として新たな高収益作物の産地化を推進	音更町	小麦、豆類、馬鈴薯、甜菜、にんじん等	19
東部耕地出張所	安定した水供給の確保等により経営規模拡大を実現	大樹町	生乳、肉牛、だいこん、馬鈴薯、甜菜等	20
釧路	大規模酪農地帯における生乳加工品の生産による経営の多角化	標茶町	牧草等	21
根室	生産性とブランド力の向上による酪農経営の高所得化	中標津町	牧草、青刈りとうもろこし等	22

乾田直播やICT技術による営農作業省力化の取組

【生産者の声】

乾田直播などにより作業時間が大幅に短縮したので、野菜の生産を始めました。

ほ場を大区画化することでICTを最大限に活用することが可能です。

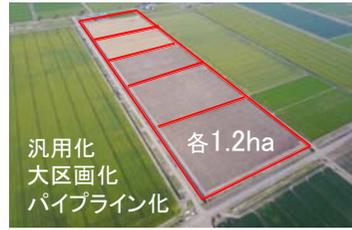


乾田直播を進める佐々木さん・西谷内さん

大区画化や地下かんがいシステムにより省力化が実現

水田の汎用化により輪作が推進され、生産性や品質が向上するとともに、大区画化や農地集積、用水のパイプライン化などにより農作業の大幅な効率化・省力化、コスト削減が実現した。また、更なる省力化に向けて、大区画化ほ場でICTを活用したスマート農業を推進している。

基盤



汎用化 大区画化 パイプライン化 各1.2ha



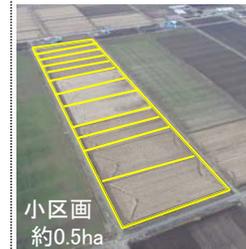
水稻直播ほ場

基盤整備

(S50年～現在)

【整備前】

地域は北海道を代表する水田地帯であるが、農家戸数の減少に伴う労働力不足やほ場の排水不良による生産性や品質の低下などが課題であった。



小区画 約0.5ha



排水不良土壌

【取組地域の概要】

○位置
北海道 岩見沢市 (過疎地域 一部指定)



新赤川北地区 他

○主要作物
・水稻、玉ねぎ、白菜、小麦、大豆等

○主な支援施策
・道営ほ場整備事業
・道営経営体育成基盤整備事業 (S50～現在)

乾田直播やICT推進による大幅な省力化

- 集中管理孔の整備に伴い乾田直播が大幅に増加。
- 市がICT基盤を整備し、高精度のRTK-GPSが全域で利用可能。
- 農業者が「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」を設立し、技術普及を推進。会員数:160名



いわみざわ地域 ICT農業利活用研究会 実証試験

生産現場

地域の女性による加工品の販売

- 乾田直播栽培の増加により遊休化した育苗ハウスを活用し、落花生を栽培。
- 地域の女性グループ「菜宝箱」がゆで落花生を加工・販売。収益向上につながっている。



育苗ハウスを活用した落花生栽培



ゆで落花生

加工・流通

整備された汎用田で新規就農者も安定生産

- 市は新規就農サポート事業により支援。受入れ環境も充実し、毎年10～14名の就農者を安定的に確保。
- 新規就農のK夫妻は、整備された汎用田で野菜を安定生産。

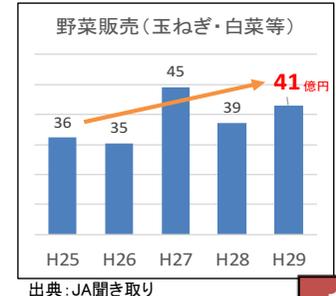
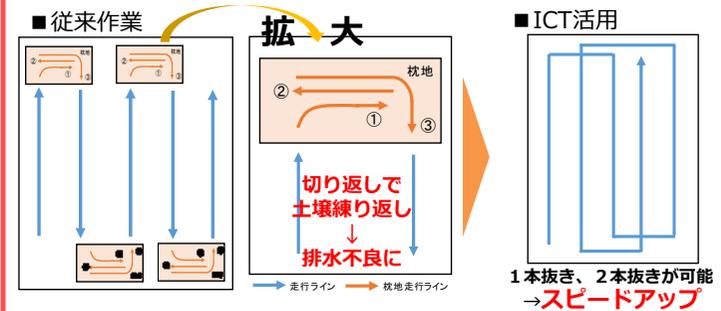


K夫妻 市の試験圃で2年間研修しH25から就農

担い手

大幅な省力化により野菜の生産が拡大

- 乾田直播や大区画化、加えてICT活用※により大幅な省力化が実現。※重複作業の減・精密化・夜間作業・切り返し不要など
- 創出された時間で白菜、玉ねぎ、にんじんなどの高収益作物の生産を拡大し、農家所得の向上を実現。



ほ場の大区画化とブロッコリーの生産拡大の取組

【生産者の声】

大区画化により、作業時間が大幅に減りました。創出された時間でブロッコリーの生産が増えました。



ブロッコリー生産の坂森さん

高収益作物の生産拡大により経営が安定

大区画化や水田汎用化などの基盤整備を契機として水稲中心の作付けから、小麦や大豆とともに**ブロッコリーやトマトなど**の高収益作物の作付けが拡大した。

また、農地集約や大型機械導入により**労働時間が短縮され**、野菜への取組意欲が増加した。

基盤



大区画化ほ場



大区画化ほ場でブロッコリーの作付け



大区画化ほ場でブロッコリーの作付け

基盤整備

(H17年～現在)

【整備前】

地域のほ場は、**小区画かつ排水不良**であったことから、野菜など**高収益作物の生産拡大に支障**をきたしていた。



湿害による生育不良

【取組地域の概要】

○位置

北海道 長沼町（過疎指定）



長沼中央 他

○主要作物

・水稲、小麦、大豆、そば、トマト、ブロッコリー 等

○主な支援施策

・経営体育成基盤整備事業 (H17～H22)
・多面的機能支払交付金 (H19～)

道内有数のブロッコリー産地として栽培を促進

- 町とJAが連携し**ブロッコリー播種機**などを幅広く助成。
- **徹底した栽培指導**や**出荷基準の遵守**などにより品質を管理、仲卸や市場を通して**高級スーパーやデパートと契約栽培**。
- 品種を**生食用に限定し収益性を確保**。



栽培指導

生産現場

野菜集出荷施設の整備で付加価値の向上

- 施設整備で作付け増加に対応。**ブロッコリーの低温貯蔵化**に取り組むなど、**付加価値を向上**。
- 北海道産ブロッコリーは、**夏期間の産地**として米国に代わり**大きく進展**。
- **コンビニと提携**し、サラダなどの加工品を販売。



加工・流通

農産物直売所や農泊、農業体験で地域活性化

- 大都市近郊に位置するメリットを活用し、**農産物の直売**や**農泊、農業体験**などを推進。**グリーンツーリズム特区も認定**。
- **直売所数14**、**旅館業取得農家は123軒**にのぼるなど**収益向上**につながっている。



排水対策や省力化により野菜の生産が拡大

- **排水対策の実施**により、野菜の作付けが可能となり**ブロッコリーの生産が飛躍的に向上**。
- **大区画化と農地集約、大型機械の導入**などにより、**農作業が効率化**するとともに**収益性も向上**。

■長沼産ブロッコリーの販売状況



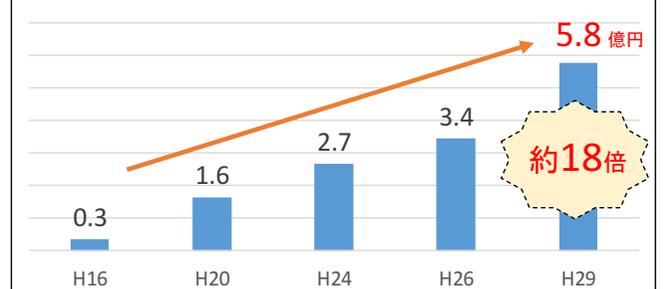
関東・関西方面に7割を出荷

■ブロッコリーの主な産地(2015)



出典：農林水産省統計

ブロッコリー販売金額の推移



出典：JAながめま

【生産者の声】



大区画化が完成し、作業時間が大幅に減りました。創出された時間で野菜の生産を始めました。

雨竜町 法人の川越さん

【取組地域の概要】

○位置

北海道 雨竜町 (過疎地域)

北海道



洲本中央地区 他

○主要作物

・水稻、小麦、大豆、そば、メロン等

○主な支援施策

- ・道営ほ場整備事業経営体育成基盤整備事業(S44～現在)
- ・農業後継者就農育成事業(雨竜町)

基盤

ほ場の大区画化による営農作業効率化

現況30aの圃場を約2haに大区画化することにより、水管理省力化や大型機械化など、**営農作業を効率化**するとともに排水改良による**収益性の向上**が実現した。

・整備前 作業効率が悪い区画 ・整備後 大区画による効率向上



基盤整備

(S44年～現在)

【整備前】

地域では、戸当りの農地面積の増加に伴う**労働力不足が深刻**であり、手間のかかる**野菜の生産体制の強化が課題**であった。



農業センサス資料

生産現場

基盤整備を契機とした新規作物の導入

- 省力化で創出した作業時間により、高品質トマトなどの**高収益作物の作付けが増加し、収益が向上**。
- 化学肥料等を使用しない栽培方法を検討し、トマトなど本来の甘みを感じられる生産。

加工・流通

加工品の開発と企業連携による販路拡大

- 無添加トマトジュースなど**高付加価値化された商品等を開発販売**。
- 直接販売**の他、生協などと**企業連携**して販路を拡大。



無添加麓夏100%ストレートトマトジュース

担い手

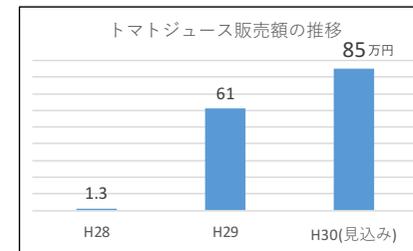
農業体験を通じて地域応援団を育成

- 法人化により商品開発や販路拡大などの**戦略的な農業経営が可能に**。
- 修学旅行生への農業体験を行い、**地域応援団の育成を推進**。



農業所得向上を目指した高付加価値作物やブランド商品の開発

- 基盤整備を契機に平成28年から化学肥料を使用しない栽培を開始。JAS有機認証を取得し、**高リコピン(通常のトマトの2倍)の有機栽培トマト**を生産。



- 近隣の酒造メーカーと連携し、雨竜町内で作付けした「吟風」100%で純米吟醸酒を開発。セイコーマートなどにて販売。



資料提供雨竜町

【生産者の声】



排水性が良くなり、品質・収量が上がりました。

H27担い手になられたYさん

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 恵庭市



- 主要作物
・ 水稲、小麦、大豆、かぼちゃ、ブロッコリー、スイートコーン等

- 主な支援施策
・ 国営かんがい排水事業(H26～)
・ 道営ほ場整備事業、土地総事業、経営体育成基盤整備事業(S48～現在)

基盤

排水改良による野菜の安定生産

道営ほ場整備等により、排水路や暗渠排水などの排水改良により、水田の汎用化が進み、野菜の安定生産が可能となった。



高収益作物 えびすかぼちゃ



暗渠排水で湿害が解消(大豆)

基盤整備

(H28年～現在)

【整備前】

排水不良のため、汎用化や農業機械の作業効率に支障を来し、農産物の生育や品質が不安定であった。



排水不良による生育不良(大豆)

生産現場

効率的な生産・販売のために

- 「市民が普段使いできる店」である道の駅直売所「かのな」への出荷販売。
- 直売所での商品の売れ行きを携帯電話に配信する「売り立て情報配信システム」を導入し、効率的な野菜生産・出荷、加工品生産が可能に。

加工・流通

加工品の開発や販売への取組

- 「えびすかぼちゃ」は恵庭市を代表する農産物で道外市場へ積極的に販売し、全国的に人気のブランド。
- えびすかぼちゃを原料に添加物を使わず、素材を活かした「恵みの庭のかぼちゃプリン」は絶大な人気商品。



かぼちゃプリン
販売10万個突破

担い手

新規就農者の確保・支援に向けた取組

- OJAと市が出資する道央農業振興公社のトレーニングほ場や、営農センターで2年間の実践的研修により担い手を確保。



実践的研修の状況

農産物の直売や加工品により所得が向上

- 基盤整備により野菜等の安定生産が実現するとともに道の駅の直売所「かのな」の平成29年の売上額が開設時の7倍を超える4.6億円となるなど、農家所得の向上に繋がっている。

■道の駅直売所「かのな」



生産者組合の会員数
45戸→70戸まで増加



高収益作物の生産拡大・加工による「稼ぐ力」の向上

まっかりむら
【北海道真狩村】

【生産者の声】

基盤整備が進んだので、安心して就農できました。手間のかかる「雪下になじん」や大根、小豆などにも挑戦してます。



H28に就農された後継者のCさん

基盤整備により生産性が高く、効率的な農作業を実現

区画整理と農地造成を一体的に行うとともに、基盤整備を契機とした**農地の利用集積**により**農作業効率が大幅に向上**した。また、併せて整備した暗渠排水により、**農作物の品質・収量の向上**が図られ、**高い生産性**を誇る畑作地帯となった。

基盤



基盤整備

(H11年～H15年)
(H19年～H27年)

【整備前】

真狩村は地域を代表する畑作地帯であるが、地形等から農地は**不整形**で、土壌に起因する**排水不良等**が生じていたため、**収量や品質が安定せず、生産性・収益性に課題**があった。



【取組地域の概要】

○位置
北海道 真狩村 (過疎、特別豪雪地帯)



○主要作物
・馬鈴薯、甜菜、小麦、小豆、大豆、ゆり根、にんじん、ブロッコリー等

○主な支援施策
・道営畑地帯総合整備事業(H11～H14)
・道営中山間地域総合整備事業(H12～H15)
・国営農地再編整備事業(H19～H27)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・産地パワーアップ事業(H28～H29)

生産の効率化と高収益作物の生産拡大

○大規模農地で、**馬鈴薯**を中心に高級食材の**ゆり根**、甘みが凝縮した**雪下になじん**などを生産。
○効率化を進め、**にんじん**や**日本一の生産量を誇る食用ゆり根**など、**高収益作物の生産を拡大**。



地域性を活かした選果体制の確立

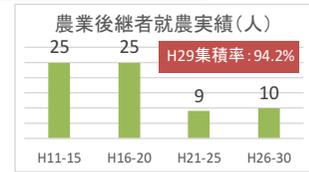
○集出荷施設を統廃合し、**近隣町村と広域化**。併せて、選果機械を更新し**流通コストを低減**。
○真狩産ゆり根を使った野菜スープのようなドレッシング「**ゆりねのフードレ**」やお菓子等、**加工品を数多く生産**。



担い手

基盤整備を契機に後継者確保へ

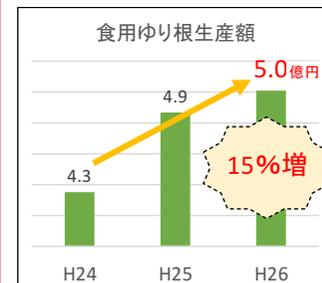
○基盤整備開始後、農地が担い手に集約されるとともに、次世代を担う**農業後継者の就農が安定的に見られ**、担い手確保に寄与。



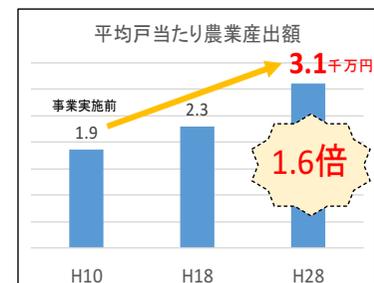
【真狩村データ】

6次産業化による所得向上

○農作業の効率化により、主に余剰労働力を活用した**高収益作物**(ゆり根、にんじん、アスパラガス、ブロッコリー、だいこんなど)の**生産が拡大**。
○更なる高付加価値化のため、特産の**ゆり根を使用したスイーツ**などの加工品を生産するとともに、近年、農業者と加工業者が連携し法人を設立し、**規格外農産物を加工・商品化**するなど、**所得向上につなげている**。



【JAようてい「真狩支所精算額」データ】



【農林水産統計から算出】

【生産者の声】

基盤整備により、
高品質な野菜を
新鮮なうちに出荷
でき、大好評です。



キャベツ部会長の中野さん

畑かん施設や農道の整備による安定生産・供給体制の構築

基盤整備により水管理の合理化、農作業の効率化が図られるとともに、出荷体制の強化や農産物輸送の効率化も実現し、高品質な農作物の安定供給が可能になった。

基盤



【整備前】

本地域は、野菜や水稲などの複合経営形態であるが、高生産性を維持するためのかんがい施設の老朽化や直売所への適期搬出を可能とする農道網の構築が課題であった。

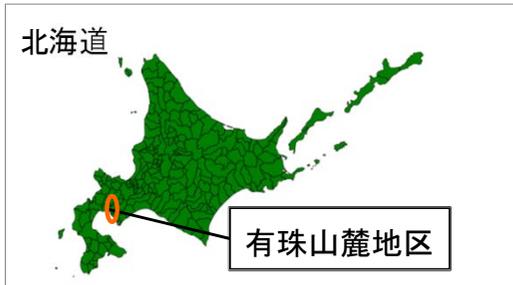


基盤整備

(H24年～現在)

【取組地域の概要】

○位置
北海道 伊達市



○主要作物
・小豆・馬鈴薯・スイートコーン・キャベツ・かぼちゃ・トマト

○主な支援施策
・道営緊急畑地帯総合整備事業(H6～H11)
・道営畑地帯総合整備事業(H24～)
・団体営農業基盤整備促進事業(H26～H28)
・伊達市就農支援給付金

安心・安全・安定生産でブランド力が向上

生産現場

- 多様な地理条件を活かして、多品種多品目の野菜を生産。
- 北のクリーン農産物表示制度「YES!clean」登録によりブランド化を推進。キャベツ、トマトなど5集団が登録。



農産物販売協議会を設置し直売の推進

加工・流通

- 観光物産館(道の駅)の建設を契機に直売所に出荷する農家で農産物販売協議会を設置。
- 直売所で販売する農産物は、約150種類の野菜を販売、市やJAの支援を受けて冬野菜の生産にも力を入れる。



新規就農支援及び技術継承

担い手

- 伊達市農業担い手育成センターを設置し新規就農者の受入を支援。(生活支援および住宅支援)
- 研修農場を整備し、育苗から出荷までを実践的に研修。



農産物の直売による収益力向上

- 畑かん施設の整備により、野菜の品質や生産性が向上し、農道網の構築で直売所への出荷体制の強化が図られた。
- 道の駅「だて歴史の杜」の農産物直売コーナーは、毎朝新鮮な「伊達野菜」が販売され、抜群の集客力を誇り、生産者の所得向上が実現している。

道の駅農産物の売上げと来客数の推移



出典) 伊達市観光物産館調べ

